

◆回答者のみなさまへ◆

ご回答いただくアンケートの内容は下記の通りです。

こちらは見本用のアンケートであり、実際にはスマートフォンやタブレット、パソコンから web 上の回答フォーム(Google Forms)にアクセスし、ご回答いただきます。設問内容は変わりませんが、実際の画面上のデザインは異なります。

子ども・若者支援団体向け

「府中市ヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」

【アンケートのご回答について】

- ①この調査に同意し、ご協力してくださる場合のみ、アンケートにご回答ください。アンケートへのご回答をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。
- ②調査期間は、10月16日(月)～11月5日(日)となります。
- ③ご回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容をご入力いただく場合があります。設問文の注意書きに従ってご回答ください。
- ④ご回答されたくない質問にはご回答なさらずに、次の質問に進んでください。
- ⑤ご回答内容はすべて統計的に処理をしますので、あなたのご回答が特定されたり、外部に知られたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、厳重に保管し、本調査研究や関連する調査研究事業、学術研究の目的以外には使用いたしませんので、安心してご回答ください。
- ⑥このインターネット調査では、一時保存が出来ません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りでお願いいたします。

※Google アカウントにログイン状態でご回答された際は、一時保存が可能です。なお、その際にもお名前やメールアドレスなど、個人が特定されないようになっていますので、安心してご回答ください。

① 基本情報について伺います。

1. あなたの性別についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 男性
- 女性
- その他

2. あなたの年齢層についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

3. ご回答される方の役職を教えてください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 代表
- 副代表
- 一般スタッフ、メンバー
- その他:(自由記述)

4. ご回答される方の主な職種や専門分野を教えてください。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 特になし
- 民生・児童委員、主任児童委員
- 福祉・保育・介護の職種・専門職
- 医療・看護・リハビリテーションの職種・専門職
- 教育・心理の職種・専門職
- その他:(自由記述)

5. ご回答される方の団体の支援活動内容について教えてください。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 食の支援(子ども食堂・フードパントリー・宅食)
- 学習支援
- 居場所支援(不登校支援含む)
- 子育て支援(保育、家事援助含む)
- 多文化共生・言語支援
- 就業・キャリア支援
- 生きづらさ・いじめ・いのちの相談支援
- その他:(自由記述)

5-① 活動の主な内容(開催頻度、定員数等)についてお書きください。(自由記述)

回答を入力

5-② 主な対象者・参加者(年齢層)について教えてください。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 乳児・未就学児
- 小学校 1年～3年
- 小学校 4年～6年
- 中学生
- 高校生世代
- 18歳以上 29歳未満
- 29歳以上

5-③ 主な対象者について教えてください。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- こども・若者 本人
- こども・若者と親・保護者

② ヤングケアラーへの認識と対応について伺います。

6. あなたはヤングケアラーという言葉とその概念を認識していますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 言葉やその概念を知らない⇒8へ
- 言葉は聞いたことがあるが、概念を具体的には知らない⇒8へ
- 言葉とその概念を認識しているが、特別な対応をしていない⇒8へ
- 言葉とその概念を認識しており、意識して対応している⇒7へ

7. 6で「言葉とその概念を認識しており、意識して対応している」と回答された方に伺います。ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 把握している⇒7-①へ
- ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない⇒8へ
- 該当する子どもはいない(これまでもいなかった)⇒8へ

7で「把握している」と回答した方に伺います。

7-①. 「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
- 特定のツールはないが、できるだけヤングケアラーの視点を持って検討・対応している
- その他:

【全員に伺います。下記のヤングケアラーの定義を踏まえて、下記の設問にお答えください。】

③ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、一般的に「本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のことをいいます。このイラストは、子どもたちがしているケアのタイプを示しています。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

8. ヤングケアラーの定義をみて、現在、または、過去に、貴団体にヤングケアラーと思われる(可能性含めて)子どもはいますか(いましたか)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

いる(いた)⇒9へ

いない(いなかった)⇒12へ

わからない⇒11へ

9. 8で「いる(いた)」と回答した方に伺います。ヤングケアラーと思われる子どもに対して、話を聴いたり、必要な情報提供や支援をするなど対応した経験はありますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

ある

ない

わからない

10. 8で「いる(いた)」とお答えいただいた中で、**最も印象に残る子ども1人**についてお伺いします。

10-1. その子どもは、ケアをしている当時、何年生でしたか。※今年度の場合は、今、何年生ですか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

小学1年生

小学2年生

小学3年生

小学4年生

小学5年生

小学6年生

- 中学1年生
- 中学2年生
- 高校1年生
- 高校2年生
- 高校3年生
- わからない
- その他

10-2. その子どもがケアをしていることに、どのようにして気づきましたか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- その子ども本人の話から
- その子どもの保護者の話から
- その子どもの友人から
- 家庭訪問時
- 同団体の他のスタッフの話から⇒10-3-①へ
- 学校および他の関係機関から⇒10-3-②へ
- その他⇒10-3-③へ

10-3-①. 「同団体の他のスタッフの話から」と回答された方に伺います。その時の状況について、差し支えない範囲で結構ですので具体的にお書きください。(自由記述)

回答を入力

10-3-②. 「学校および他の関係機関から」と回答された方に伺います。その時の状況について、差し支えない範囲で結構ですので具体的にお書きください。(自由記述)

回答を入力

10-3-③. 「その他」と回答された方に伺います。その時の状況について、差し支えない範囲で結構ですので具体的にお書きください。(自由記述)

回答を入力

10-4. その子どもの性別についてお答えください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 男性
- 女性
- その他

10-5. その子どもの家族構成についてお答えください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- ひとり親家庭(祖父母同居なし)
- ひとり親家庭(祖父母同居)
- ふたり親家庭(祖父母同居なし)
- ふたり親家庭(祖父母同居)
- 祖父母と子どものみ(場合によっては他の親戚が同居するものも含む)
- わからない その他:

10-6. その子どもは誰をケアしていますか(いましたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 母親
- 父親
- きょうだい
- 祖母

- 祖父
- わからない
- その他:(自由記述)

10-7. その子どものほかに、家族の中でケアをしている人はいますか(いましたか)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- いる(いた)⇒10-7-①へ
- いない(いなかった)⇒10-8へ

10-7で「いる(いた)」と回答した方に伺います。

10-7-①. その子どものほかに、家族の中でケアをしている人は誰ですか(誰でしたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 母親
- 父親
- きょうだい
- 祖母
- 祖父
- わからない
- その他:(自由記述)

④ ヤングケアラー支援に関するご意見をお伺いします。

12. ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 大人がヤングケアラーについて知ること
- 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- SSW(スクールソーシャルワーカー)やSC(スクールカウンセラー)などの専門職の配置が充実すること
- 子どもが大人に相談しやすい関係をつくること
- ヤングケアラーについて検討する組織を機関・事業所内につくること
- 学校や福祉・医療等の関連機関にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 学校や福祉・医療等の関連機関がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- ヤングケアラーを支援する民間団体が増えること
- 18歳以降も支援が継続して行えること
- 学校と福祉・医療等の連携を進めること⇒12-①へ
- 特にない
- その他(自由記述)

12-①. 「学校と福祉・医療等の連携を進めること」と回答された方に伺います。差し支えない範囲で結構ですので、具体的にどのような学校と福祉・医療等の連携が進められる必要があるか、ご意見をお聞かせください。(自由記述)

回答を入力

13. ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想をご入力ください。府中市に求める支援、悩み、要望など、自由にご意見をお書きください。(自由記述)

回答を入力

14. 貴団体へのインタビュー調査にご協力の可否(インタビュー実施は、次年度(来春)を予定しています)

インタビュー協力 できる ⇒14-①へ

インタビュー協力 できない

14-① 団体名、お名前とご連絡先(メールアドレス)のご記入をお願いします。

回答を入力

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

府中市・一般社団法人ケアラーワークス